



アウトドアを楽しもう!! に参加して

事業名：アウトドアを楽しもう!!

開催日：令和6年11月30日（土）10：00～16：00

会場：東かがわ市北山コミュニティセンター及び山田海岸

参加者20名・スタッフ12名



香川県立高松東高等学校2年生 大山 優菜

今までキャンプとかあまりしたことがなくて、みんなで協力し教え合いながら料理を作る楽しさを感じられました。ナンを粉から作ったのですが、小さい子どもに教えながら楽しく作れました。子どもや障害者の方たちにうまく説明できるか不安でしたけれど、ちゃんと説明できていて良かったです。午後からの砂浜でのアート作りがとても楽しかったです。子どもたちとかざりになる貝がらや木の棒をさがしました。かざりで家庭内のゴミやペットボトルをかざっているグループもありました。ひさびさに海に行ったのですが、こんなにもゴミが落ちていると思いませんでした。これで海の生物たちが傷ついていると思うと、とても悲しくなりました。

アウトドアボランティアとても楽しかったです。外の寒いところで食べるあったかいご飯はとても美味しかったです。



香川県立高松東高等学校2年生 成瀬 楓羽

前は、大学生の人達もいたけど、今回は自分達だけだったから車いすの補助や机や椅子を運ぶなど色々体験でき、少しの段差でも車いすの方は危険だから道もしっかり見て押さないといけなかったことが分かりました。また、坂をおりる時などに車いすを後ろ向きにもしておりに気づきました。

香川県立高松東高等学校2年生 中村 智夏

障がいを持っている人も参加していて、右手しか使うことができない人とナン作りをしました。助け合いながらつくることで、ご飯がすごくおいしく感じました。

さぬき市津田町の海を楽しもう!! に参加して

事業名：さぬき市津田町の海を楽しもう!!

開催日：令和6年10月27日（日）10：00～16：00

会場：さぬき市津田町漁業協同組合及び保健医療大学体育館

参加者11名・スタッフ19名・津田町漁業協同組合2名



松本 晃一

津田漁協講師紹介と海で取れる魚の見学をしました。漁師さんのお話を聞きました。次は、鯛やツバスやコチを突き刺しました。生き締めです。それから魚のビンゴゲームをしました。選んだ魚をクーラーボックスに入れました。魚の紙芝居を見ました。お弁当を食べてから僕たちと友達で、ダーツやレクボッチャを投げました。友達と一緒に楽しかったです。おうちに帰って鯛やコチやツバスを食べました。家族も喜んでくれました。美味しかったです。



—地引き網を終えて—

香川県立保健医療大学看護学科2年10名

今回6月と10月、2回の地引き網を通して、私たちは様々な経験をさせていただき、多くの学びを得ることができました。1回目の地引網の際は、何もわからない状態から始まり、どんな人が来るのか、どのくらいの規模なのか、疑問しかない状態での準備期間でした。去年とは違い、地引網を実施せず漁連に行かせていただく形に変更だったため学生がどう動くべきなのかわからず戸惑いもありました。しかし、全員で協力し、様々なパターンを想像し準備を行うことができました。晴れだった場合、雨だった場合、参加者の年齢層、動ける範囲など考えられるだけ考えてレクリエーションも考えることができました。レクリエーションを考える際も、「どんな人でも楽しめるようにしよう、車いすだからできない、障害を持っているからできない、と思う人を0にしよう」ということを目標に計画しました。どのレクリエーションにもそれぞれのこだわりがあって、本当にみんなが楽しめるレクリエーションを考えられたと思います。2回目の地引網では、1回目の反省を活かしたり、新たに高校生に来てもらったり、また1回目とは違う難しさがあったけど、小さい子供たちの笑顔も見られ、車いすの人や麻痺のある方にも楽しんでいただけたのではないかと感じました。また「たのしかった!!」と直接言ってもらえて、達成感を得ることができました。

2回の地引網を通して、小さい子どもから高齢者、障害の有無にかかわらず、様々な人たちが交流し楽しめたのではないかと思います。私たち学生も、実際に車いすの介助を行ったり、子供や障害を持つ人とのかわり方だったり、学校だけではできない貴重な経験をさせていただきました。

多様性が大切になってくる現代で、このように多くの人と交流できる機会はこれからも大事にしていくべきだと改めて実感できました。今後もこの経験を実習や演習に活かしていきたいです。

